



タイトル「**2022年度危機管理学部(公開)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT3302S		
科目名	国際関係論		
担当教員	安藤 貴世		
対象学年	1年	開講学期	後期
曜日・時限	金 3		
講義室	1201	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門展開		
科目小分類	専門基礎		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-E [学識・専門技能] 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 DP4-I [理解力・分析力] 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 E1 学識と専門技能（60%） I1 理解・分析と読解（20%） I3 情報分析（20%）		
教員の実務経験	2006年から2009年まで3年間、外務省において任期付き職員として勤務し、外交実務を経験しました。また、国際刑事裁判所の設立に際し、日本政府代表随員として、国連本部（於：ニューヨーク）において開催された諸会議に参加しました。2016年より現在まで法務省難民審査参与員として、難民認定審査の業務に携わっています。 これらの実務上の知見と経験を活かし、実際に日本と諸外国との外交関係が形作られていく様子や、現実の国際社会における諸問題への対応、解決などにも触れつつ講義を行います（第3回、第14回）。		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応 2 進行期 ～ 3 発展期		
科目概要・キーワード	現代社会を生きるうえで、国内状況のみならず、日々めまぐるしく変動する国際社会の基本構造を理解することは不可欠です。本講義では、世界情勢の現状と課題を理解するための基盤となる国際関係論の基礎的な概念・理論を修得することを目的とします。国際関係におけるアクター、国益と外交、国家間関係を規律する国際法、国連などの国際機関、安全保障と戦争と平和、地球環境問題などについて、国際社会が抱える様々な課題や危機を素材としつつ学修します。そのうえで、複雑な現代国際社会の動向を正確に捉え、その事象を論理的に読み解く力を身に付けることを目指します。授業は講義により行います。なお、授業の一部を補完するため、あるいは代替するためにディスタンスラーニング（遠隔授業）を取り入れる場合があります。 ■キーワード 国際社会・外交・国連・ウクライナ問題・地球規模の問題		
授業の趣旨	■副題 国際関係論とは何か、その特徴と基本的枠組みについて学修します。を理解し、今日の国際社会における様々な問題・事象について解決法を探ります。 ■授業の目的 本講義は、国際関係論という学問をとおり、今日の国際社会における様々な問題・事象を理解し、その解決法を探ることを目的とします。		

	■授業のポイント まず、国際関係の概念、国際関係を形成する国家とは何か、国際社会の基本構造など、国際関係論を学ぶ上で重要な事項について概観したうえで、国際関係論の視点から現代国際社会における様々な問題を理解する姿勢を身に付けます。具体的なトピックとしては、外交、国際機関（国連など）、安全保障、地球的規模の問題としての地球環境問題、感染症などを取り上げ、時事問題も事例として紹介しつつ、国際関係論を基礎から学んでいきます。15回の授業終了時には、日頃、ニュースや新聞で目にする国際的な出来事を明確に理解し、身近なものに感じられるようになることを目指します。								
総合到達目標	■国際関係論に関する基礎知識を修得する。 ・国際関係論を学ぶうえで重要な基礎的事項について説明できる。（第1回～第3回） ・現実が発生している多様な国際問題について、国際関係論の分析視点から説明することができる。（第4回～第15回） ・国際社会における日本の位置づけ・役割について、考察し、自らの考えを説明することができる。（第3回、第9回、第14回）								
成績評価方法	■リアクションペーパー、授業内容に関するミニテスト 3～5回（授業の実施形態によっては、回数が変更となる可能性があります）（20%）：適用ルーブリック E1、I1 （評価の観点）授業の内容を踏まえ、自ら考え理解しようとしているかどうかを評価します。 （フィードバックの方法）次の回の授業において解説をします。 ■中間テスト 1回（30%）：適用ルーブリック E1、I1、I3 （評価の観点）授業の内容について理解し、自らの言葉で説明することができるかを評価します。 （フィードバックの方法）：提出後、解説を行います。 ■まとめのテスト 1回（50%）：適用ルーブリック E1、I1、I3 （評価の観点）授業の内容について理解し、自らの言葉で説明することができるかを評価します。 （フィードバックの方法）提出後、解説を行います。								
履修条件	特にありません。国際関係論について基本的な事項から説明しますので、予備知識は不要です。高校で世界史を選択していない場合でも問題ありません。								
履修上の注意点	授業中の私語は厳禁とします。								
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td> ①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業の狙いと内容、授業計画、成績評価、参考文献、受講の際の留意点などに関する説明をとおし、授業の全体的な概要を理解する（E1）。 ③予習（90分） シラバスの内容を確認する。最近の時事問題について関心のあるものをピックアップする。 ④復習（150分） 講義ノートを見直し、授業の狙いや内容などについて確認する。 </td></tr> <tr> <td>2</td><td> ①授業テーマ 国際社会における国家 ②授業概要 国際社会のアクターである国家とは何か、主権国家の原型、国民国家の変容などについて説明できるようになる（E1、I1、I3）。 ③予習（120分） 「国家」に関する自身のイメージについて考えてみる。 ④復習（120分） 講義ノートを見直し、国家の特徴などについて確認し、自らの言葉でまとめる。 </td></tr> <tr> <td>3</td><td> ①授業テーマ 外交 ②授業概要 外交とは何か、国益や外交官の役割、日本の外交について説明できるようになる（E1、I1、I3）。担当教員の実務経験を踏まえて、外交官の役割などについて講義します。 ③予習（120分） 「外交官」に関する自身のイメージについて考えてみる。 ④復習（120分） 講義ノートを見直し、外交官の役割などについて確認し、自らの言葉でまとめる。 </td></tr> </tbody> </table>	回	内容	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業の狙いと内容、授業計画、成績評価、参考文献、受講の際の留意点などに関する説明をとおし、授業の全体的な概要を理解する（E1）。 ③予習（90分） シラバスの内容を確認する。最近の時事問題について関心のあるものをピックアップする。 ④復習（150分） 講義ノートを見直し、授業の狙いや内容などについて確認する。	2	①授業テーマ 国際社会における国家 ②授業概要 国際社会のアクターである国家とは何か、主権国家の原型、国民国家の変容などについて説明できるようになる（E1、I1、I3）。 ③予習（120分） 「国家」に関する自身のイメージについて考えてみる。 ④復習（120分） 講義ノートを見直し、国家の特徴などについて確認し、自らの言葉でまとめる。	3	①授業テーマ 外交 ②授業概要 外交とは何か、国益や外交官の役割、日本の外交について説明できるようになる（E1、I1、I3）。担当教員の実務経験を踏まえて、外交官の役割などについて講義します。 ③予習（120分） 「外交官」に関する自身のイメージについて考えてみる。 ④復習（120分） 講義ノートを見直し、外交官の役割などについて確認し、自らの言葉でまとめる。
回	内容								
1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業の狙いと内容、授業計画、成績評価、参考文献、受講の際の留意点などに関する説明をとおし、授業の全体的な概要を理解する（E1）。 ③予習（90分） シラバスの内容を確認する。最近の時事問題について関心のあるものをピックアップする。 ④復習（150分） 講義ノートを見直し、授業の狙いや内容などについて確認する。								
2	①授業テーマ 国際社会における国家 ②授業概要 国際社会のアクターである国家とは何か、主権国家の原型、国民国家の変容などについて説明できるようになる（E1、I1、I3）。 ③予習（120分） 「国家」に関する自身のイメージについて考えてみる。 ④復習（120分） 講義ノートを見直し、国家の特徴などについて確認し、自らの言葉でまとめる。								
3	①授業テーマ 外交 ②授業概要 外交とは何か、国益や外交官の役割、日本の外交について説明できるようになる（E1、I1、I3）。担当教員の実務経験を踏まえて、外交官の役割などについて講義します。 ③予習（120分） 「外交官」に関する自身のイメージについて考えてみる。 ④復習（120分） 講義ノートを見直し、外交官の役割などについて確認し、自らの言葉でまとめる。								

4	①授業テーマ 国際法（１） ②授業概要 国際法とは何か、国際法の基本原則、国際法の規律事項などについて説明できるようになる（E1、I1、I3）。 ③予習（120分） 「国際法」に関連すると思われる時事問題をピックアップする。 ④復習（120分） 講義ノートを見直し、国際法の特徴について確認し、自らの言葉でまとめる。
5	①授業テーマ 国際法（２） ②授業概要 ロシアによるウクライナ侵攻を国際法の観点から見た際の論点について説明できるようになる（E1、I1、I3）。 ③予習（120分） ウクライナ問題と関連する国際法の論点をピックアップする。 ④復習（120分） 講義ノートを見直し、ウクライナ問題への国際法の適用について確認し、自らの言葉でまとめる。
6	①授業テーマ 国際機関（１） ②授業概要 国際機関とは何か、国連の成立史、国連の主要機関や機能などについて説明できるようになる（E1、I1、I3）。 ③予習（120分） 「国連」に関連すると思われる時事問題をピックアップする。 ④復習（120分） 講義ノートを見直し、国連の成立史、主要機関、機能などについて確認し、自らの言葉でまとめる。
7	①授業テーマ 国際機関（２） ②授業概要 ウクライナ問題に対する国際機関の取り組みについて説明できるようになる（E1、I1、I3）。 ③予習（120分） ウクライナ問題に際し、国連等の国際機関がどのような対応を示したか調べてみる。 ④復習（120分） 講義ノートを見直し、ウクライナ問題への国際機関の対応確認し、自らの言葉でまとめる。
8	①授業テーマ 中間テストと解説 ②授業概要 これまでの授業での学習を総括し、中間テストおよびその解説を行う（E1、I1、I3）。 ③予習（120分） これまでの講義ノート全体を見直し、不明な点等がないか確認する。 ④復習（120分） これまでの講義と中間テストを振り返り、理解不足の箇所がある場合には十分に復習する。
9	①授業テーマ 安全保障 ②授業概要 安全保障とは何か、日本の安全保障の基本条件などについて説明できるようになる（E1、I1、I3）。 ③予習（120分） 日本の安全保障に関する時事的な問題について、新聞記事などを検索し調べる。 ④復習（120分） 講義ノートを見直し、安全保障とは何か、授業で扱った日本の安全保障に関する諸問題について確認し、自らの言葉でまとめる。
10	①授業テーマ 領土問題（１）－北方領土、竹島 ②授業概要

	日本が周辺諸国との間に抱える領土問題について、歴史的経緯、現状、解決の可能性などについて説明できるようになる（E1、I1、I3）。 ③予習（120分） 日本の領土問題に関する最近の動きについて、新聞記事などを検索し調べる。 ④復習（120分） 講義ノートを見直し、領土問題の経緯、解決の可能性等について確認し、自らの言葉でまとめる。
11	①授業テーマ 領土問題（2）－尖閣諸島、中国の海洋進出 ②授業概要 日本が周辺諸国との間に抱える領土問題について、歴史的経緯、現状、解決の可能性などについて説明できるようになる（E1、I1、I3）。 ③予習（120分） 日本の領土問題に関する最近の動きについて、新聞記事などを検索し調べる。 ④復習（120分） 講義ノートを見直し、領土問題の経緯、解決の可能性等について確認し、自らの言葉でまとめる。
12	①授業テーマ 地球規模の問題（1）－地球環境問題 ②授業概要 地球環境問題の概要、持続可能な開発や予防原則、地球環境問題への国際社会の取組などについて説明できるようになる（E1、I1、I3）。 ③予習（120分） 地球環境問題に関する時事的な問題について、新聞記事などを検索し調べる。 ④復習（120分） 講義ノートを見直し、地球環境問題の解決への国際社会の取組などについて確認し、自らの言葉でまとめる。
13	①授業テーマ 地球規模の問題（2）－感染症 ②授業概要 新型コロナウイルスをはじめとする感染症への国際社会の取組、WHOの役割・機能などについて説明できるようになる（E1、I1、I3）。 ③予習（120分） 感染症への対応に関するWHOの役割について、新聞記事や外務省、厚生労働省のホームページなどを検索し調べる。 ④復習（120分） 講義ノートを見直し、感染症に対する国際社会の取組、WHOの機能や課題などについて確認し、自らの言葉でまとめる。
14	①授業テーマ 世界の中の日本 ②授業概要 世界の中の日本の位置づけ、役割などについて、時事問題などを取り上げ検討・考察し、説明できるようになる（E1、I1、I3）。担当教員の実務経験を踏まえて、国際社会における日本の役割について講義します。 ③予習（120分） 日本が今日の国際社会においてどのような役割を果たすことができるかについて、これまでの授業を振り返りつつ、自身の考えをまとめる。 ④復習（120分） 講義ノートを見直し、現代国際社会において日本が抱える諸課題とその解決について、自らの言葉でまとめる。
15	①授業テーマ まとめと授業内試験、解説（授業の実施形態によっては、まとめのレポートに変更） ②授業概要 これまでの14回の授業での学習を総括し、国際関係論に関するまとめの考察と授業内試験、解説を行う（E1、I1、I3）。 ③予習（120分） これまでの講義ノート全体を見直し、不明な点等がないか確認する。 ④復習（120分） 講義全体を振り返り、今後の履修計画（国際関係論論の関連科目など）を検討する。
関連科目	国際政治学（RMGT3552）、国際法（RMGT3451）、安全保障論1（国際安全保障）（RMGT3551）、安全保障論2（国家安全保障）（RMGT3554）、国際協力論

	(RMGT3560)
教科書	開講時に指示します。
参考書・参考URL	初回授業および各回の授業において適宜紹介します。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に伝えます。 ■オフィスアワー 水曜5限（予定）。それ以外の時間帯については、メールで事前にアポイントメントを取って下さい。
研究比率	■危機管理領域との対応 災害マネジメント10%：パブリックセキュリティ30%：グローバルセキュリティ50%：情報セキュリティ10% ■危機管理学と法学とのバランス 法学40%：危機管理学60%

